



関西支部報

http://jac.or.jp/kns/

山は夢、夢は山

茂木完治

●1年を振り返って

昨年5月に支部長に就任してあっという間に1年が経ちました。目まぐるしかった1年を振り返ると、まず安全委員会を思い出します。一昨年に立ち上げたものの独自の活動は昨年春からでした。7月に山の病気に関する講習会、9月に徒渉講習会、11月に道迷い講習会を開きました。次に登山教室です。現在重廣会員が行っていますが、いつまでも頼ることもできません。これから先どのような形が可能かプロジェクトで議論を重ねました。今年は重廣会員に指導者講習をしていただくことで後継者作りを4月からスタートする予定でしたが、新型コロナウイルスのためにいつからできるのか見当がつかいません。

支部財政は苦しい赤字が続いています。費用削減ももちろんありますが、新会員を増やすことがより大事なことでと考えております。しかし入会しただけで満足してしまっていたら、そのうちに去ってしまいます。新入会員の方に速やかに支部になじんでもらうことが大事です。昨年は初めて新人歓迎山行を実施いたしました。

新入会員の質が変化してきていることを感じます。以前はそれぞれの所属山岳会で登山活動していたので、日本山岳会では親睦、交流のための山行をするのが主流でした。これからは山の未経験者も入ってくるのが避け

られません。そのような人を教育して、育てて一人前にしなければなりません。それには、魅力を感じてもらえる山行を企画することが大事になります。

そしてもうひとつ、仲間意識を作ることも重要です。そもそも山岳会活動というのは登山活動を通じて、先輩が後輩に様々なことを伝えることで初めて血の通った仲間意識、団結が生まれます。それが山岳会の財産です。登山活動とは本気で山に向き合うことです。全員とは申しません、10人に1人、100人に1人でもそのような登山に参加してくれて夢を育ててくれれば成功でしょう。

そのような観点から支部の山行の在り方を見直したいと考えております。山を夢見て、夢の山を目指す。そのようなことができる関西支部を夢みております。

●新型コロナの対応について

振り返って最大の事件は新型コロナウイルス COVID19です。現在進行形でもあります。これの特徴は高齢者の死亡率が高く、志村けんさんなどの著名人が次々に亡くなるのに恐怖も感じました。関西支部にはご高齢の方も多いため慎重な対応を心がけて運営していきたいと考えております。

新型コロナは2月中旬までは対岸の火事だったのです

目次

山は夢、夢は山	茂木完治	1
みんなで歌おう山の歌		
— 歌声喫茶に思うこと	久保和恵	2
支部山行報告		
陽だまり山行	前田正彰	3
ゆるやか山行「里山探訪パート2」	久保和恵	3
しっかり歩こう「大谷山」	江村俊也	4
しっかり歩こう「大峰の山」	小黒節郎	4
六甲山を歩く「七兵衛山」	岡野武司	5
ゆるやか山行「里山探訪パート2」	前田正彰	5
しっかり歩こう「三本松峰」	水谷透	6
しっかり歩こう雪山「氷ノ山」	松仲史朗	7
六甲山を歩く「徳川道を歩く」	黒岩敦子	7
個人山行(1月～3月)		8
令和元年度日本山岳会		
関西支部総会報告		9
平成31年・令和元年度支部会計報告書		11
令和2年度会計予算書		11
会務報告		
第11回・第12回役員会議事録		12
ルーム目録		12
山岳・スキー映画の世界	劇映画編3	
	嶋岡章	13
山行委員会行事案内		
2020年7月～9月		15
自然保護行事案内		
2020年7月～9月		16
新入会員・会友紹介		17
「山の日講演会」のご案内		17
「夏季懇親会」のご案内		17
編集後記		18

が、役員会は3月に入って11日に行ったのを最後に催しておりません。行事も3月7日の登山教室を中止して以降すべて中止しております。山行を楽しみにされていた方々には残念なことであったことと存じます。

ある国の大統領がこれは戦争であるといいましたが、たしかに平常とは全く異なる考え方、やり方で進めねばならず緊張させられました。3月中旬から最小人数で運営いたしました。4月2日に総会を书面審査で行うことを決め、会計監査、総会議案書の役員チェックを経て、4月15日に総会出席申込者32名へ議案書と返信葉書を発送しました。結果は31名の承認をいただきましたのでご報告いたします。不安、不自由の中でご協力いただいた方々はご苦労様でした。

今後の新型コロナ対応(5月初旬の執筆のため状況が変わっている可能性はあります。)ですが、6月の行事は中止いたします。個人山行も個別判断が難しいので、緊急事態宣言期間は自粛をお願いいたします。7月以降については6月初めに決定いたします。再開の目安は役員会が開催できるようになることです。決定したことは関西支部のホームページにも記載いたしますので、それに

も目を通し下さい。

本部などの行事も軒並み延期になっています。5月9、10日に予定されていたエベレスト登頂50周年行事は来年に延期、5月16、17日の宮城支部の支部懇談会は10月に延期、7月4、5日に奈良県吉野で予定の自然保護全国大会も10月に延期になります。先の見通せない苦しい日々が続いております。フラム号で北極点を目指したナンセンの気持ちになってじっと時が来るのを待とうではありませんか。

HPに会員専用ページ開設

- 関西支部のホームページに「会員ページ」を開設いたしました。
- 内容は「関西支部規約」や「掲示板」等です。
- 閲覧にはパスワードが必要です。
- 「会員ページ利用申請」よりご登録ください。
- ホームページのアドレス
- <http://jac.or.jp/kns/>
- または
- <https://kansaijac.jimdofree.com/>

「みんなで歌おう山の歌ー歌声喫茶」に思うこと 山の音楽担当 久保和恵

建国記念日の令和2年2月11日(火)JR神戸線の駅前にある、六甲道勤労市民センターに於いて「みんなで歌おう山の歌」と題して「歌声喫茶」を開催いたしました。関西支部登山文化研究会「山の音楽」部門活動の一環とした取り組みです。神戸登山研究所近くの王子地域福祉センターで「王子の三人王子」として、定期的に歌声喫茶を主宰しているミュージシャングループ「ちゅーとらぶー」を招いての開催です。午後3時からという時間帯で、来場者の見込みが立たず、事前のPRに苦労しましたが、お陰様で80名の参加があり用意した椅子席がほぼ埋まる盛況でした。

事前に支部会員や登山用品店にパンフレット配布するなどして案内し、また、「ちゅーとらぶー」のチャンネルにも周知をお願いいたしました。そして両者で選定した山の歌22曲の歌集を作成しました。会場の椅子を埋めたのは、年齢層は50歳～80歳代までが中心の様子で、会場は懐かしの空間と見えました。

オープニングは六甲山地が舞台となった「青い山脈」から始まりました。最初は何か気恥ずかしさを感じながら、口パク気味だったのですが、司会進行の方の巧みなサポートのお蔭で、曲数が進むにつれ生演奏に合わせて声

を出して歌っていました。

中ごろの「山男の歌」では支部会員たちが舞台前に並んで、またラストの「雪山賛歌」では大きな輪になって、声高らかに歌い盛り上がりました。音楽の雰囲気によってか、青春時代の思い出によるものか、生き生きとした皆さんの顔が印象的でした。

山の歌はハイキング、キャンプ、また登山中のテント泊の夜など、いくたびとなく口ずさみ山仲間と思いを共有していました。半世紀も前の登山ブームの頃です。その多くの歌を覚えられたのは、多分に“楽しく歌う社交場(歌声喫茶)”のお蔭でもありました。

参加者の方々から「定期的に続けて欲しい」との声が上がっていました。それぞれの思い出と重ね合わせ、歌っておられたのでしょうか。

山に関する名曲はまだあります。たいせつな記録として、忘れ去られる前に何とか歌い継いで残したいものです。歌声喫茶の特徴を利用し、山行などに取り入れるなど、歌との出会いの場をつくり、そして世代を超えて、若い人には新しい歌との出会いと思って一緒に歌って欲しいですね。

支部山行報告

支部山行19-41 陽だまり山行
「播磨の山 天下台山 321.3m」

前田正彰

1月5日(日)曇時々晴

令和になって初めての「陽だまり山行」だ。JR相生駅前ですぐ柔軟体操をしてほぼ10時に出発した。天候も穏やかで心配された気温も前日の予報よりは高めでありがたい。

市街地のアスファルト道が長いが良い足慣らしではあった。

全体に起伏は少なく傾斜もゆるくもってこいの里山歩きだ。低山のわりに枝道も多いが道案内の道標がしっかり整備されていた。地元の数組の人たちとすれ違って挨拶を交わす。



頂上から相生湾を望む 写真：前田正彰

山頂への尾根筋に出ると一週に展望が開けた。右手から小豆島、相生湾、家島群島と、もやがかかって遠方の景色がもう一つだったのは残念だったが……。

天下台山々頂で昼食。ゆっくりと休憩をとって集合写真を撮り13時下山開始。1時間ほどで岩屋谷公園に到着。そこで恒例の“宴会”。幹事さんたちが準備下さったお神酒や料理をいただきながらしばしの歓談で賑わった。

出発時間に遅れた方の迎えにあたふたするといったハプニングもあったが、今年も気持ちよく新年の初歩きを楽しむことができた例会だった。

【コースタイム】

相生駅10:00～10:40東部墓苑登山口10:50～12:25天下台山
13:05～14:10岩屋谷公園15:10～16:00相生駅

【参加者】

須磨岡輯、山内幸子、新本政子、浦上芳啓、岡田輝子、金井健二、清瀬祐司、黒田記代、嶋岡章、助川征、中島

隆、中山勝也、野村康、深澤優子、宗實二郎、前田正彰
(会員外1名) 計17名

支部山行19-42 ゆるやか山行

【里山探訪パート2】歴史と文化を訪ねて
「龍王山 585.5m」

久保和恵

1月16日(木)晴時々曇

今日は龍王山に登頂。雨乞い信仰の山であり、また山頂は戦国武将十市遠忠が築いた大和を代表する別城一郭の山城の跡で知られる山である。

柳本BSから天理トレイルセンターへ。現地集合の方々とは合流しスタート。登りは長岳寺コースをとる。長岳寺を回り込み、龍王山の案内に従い田園の道を進む。左に石地藏のある切通しを通過して山道に入る。さらに先に行くとU字状の道が尾根に続いている。岩盤も現れる急坂で油断できない。やがて石不動を左に見る頃から山道に落ち着きが見られ、やっと辺りの気配を感じ取れた。間もなく長岳寺奥ノ院の分岐を右に分け、さらに登ると、植生は雑木からスギ植林に変わり、林道に出合った。

ここが北城跡への分岐だが、先に龍王山(南城跡)に向かう。藤井・田龍王社を拝し、10分で登頂。二等三角点埋まる広い平らな山頂からは奈良盆地を一望、西に望む金剛、葛城、二上山、さらに北へ信貴、生駒と続く山並みの展望は、登りの疲れを癒して余りある素晴らしさだ。



山頂から金剛葛城山系を望む 写真提供：菱田克彦

昼食後、山頂を後に柳本龍王社を巡り、林道出合から北城跡へ。南城跡に比べ、木々に囲まれた山頂は、落葉で敷き詰められ静寂そのもの。

下山は再度林道出合に戻り、崇神天皇陵コースを下る。途中長岳寺奥ノ院までピストンし、分岐から急坂を少し

下ると龍王山古墳群に差し掛かる。山腹など自然地形をそのまま利用した円墳、横穴が600基点在しているというが、時間に余裕がなく探索できず惜しくも素通りした。下山は慌ただしかったが、崇神天皇陵は少し立ち寄ることができ、無事に予定通り柳本BSで解散した。

【コースタイム】

柳本BS9:43～天理トレイルセンター10:08～長岳寺～11:07石不動～11:44林道出合(駐車場)～12:00龍王山(南城跡)12:45～13:27北城跡13:39～14:10奥ノ院分岐～(奥ノ院往復)～14:44龍王山古墳群～崇神天皇陵～15:29柳本BS

【参加者】

久保和恵、山内幸子、新本政子、上田典子、魚津清和、内田嘉弘、内田昌子、浦上芳啓、薦田佳一、坂口和子、田中昌二郎、中島隆、野口恒雄、橋本圭之輔、菱田克彦、前田正彰、森沢義信、山崎詮、金川清弘、黒岩敦子、小林三喜男、高木知子、田頭夏子、田中アキエ、中田栄、播戸日出生、横山規江(会員外1名) 計28名

支部山行19-43 しっかり歩こう 月例会(1月)

「大谷山 813.7m」

江村俊也

滋賀福井県境のマキノの山々は大阪からはかなり距離のある山域だが、新快速にて割と短時間で足を運ぶことができる。今回は雪を楽しみに高島トレールの中の大谷山を選んだが暖冬のため積雪には恵まれなかった。新快速にてマキノ駅を下車、登山口までタクシーを利用した。(マキノ駅から石庭登山口までコミュニティバス利用可能。本数が少ないので予め時間を確認ください。)

1月26日(日)晴

動物避けのゲートを開けて登山道へ。道はよく踏まれているが、まずまずの急登。登るほどに眼下に里の風景が広がり、奥には琵琶湖が広がってくる。例年であればラッセルになることもあるのだが、今年は暖冬のため積雪はなく、里山の長閑さが一層感じられる気がする。展望コースの分岐では眺望尾根へ向かったが、急な登りはまだまだ続く。一登りで見晴らしの良い大谷山山頂に到着し、展望を楽しんだ。

その後は寒風へ向けて縦走開始。寒風の手前の風が避けられるところで昼食をとり、すぐに寒風に到着。そこからマキノ高原へ下山を始める。いい加減下りに飽きてきた頃にマキノ高原スキー場に到着。その後温泉で1日の汗を流して帰った。

新型コロナウイルス感染症の世界的な流行の中、緊急事態宣言が出され様々な影響が出ています。わずか数ヶ

月前のことが今では遥か以前のことのようには感じられません。緊急事態宣言が解除されてもすぐには元の生活に戻ることは難しいでしょうが、近隣の里山から少しずつハイキング、登山ができる日を楽しみにしています。

【コースタイム】

石庭登山口10:00～12:00展望コース分岐～12:37大谷山～13:45寒風～14:30展望ベンチ～14:50西山林道出合～15:15寒風・大谷山登山口～15:30マキノ高原温泉さらさ

【参加者】

江村俊也、岡野武司、豊田哲也、永井和、深澤優子、松仲史朗、茂木完治、山内優祐 計8名

支部山行19-44 しっかり歩こう

「大峰の山 雪の観音峰 1347.7m」

小黒節郎

2月9日(日)晴後曇

近鉄下市口駅から霧氷バスに乗り直りで観音峰登山口へ。登山者多く(30人以上か?)皆さん慌ただしく準備。スタートから軽アイゼンなどの滑り止めを装着する人が多いが、我々は付けず。モンベルのツアーもいる。

昨日まではまったく雪がなかったらしいが、昨晚の積雪で雪景色! 絶好の冬山登山日和。ジグザグの登山道を登るとしばらくして第一展望台に到着、あいにく遠望は望めない。急登で高度を稼ぐとりっぱな観音平休憩所に到着し暖かい飲み物で一息つく。さらに登ると視界が開けて観音峰展望台に到着。周囲が見渡せ、雪景色が広がる。大きな石碑をバックに記念撮影。

ここから先の樹林帯は「霧氷」を見ることができ、増してきた寒さと併せて冬山らしさを実感。下山の人と度々すれ違うが、観音峰登山は人気の冬山入門コースと再確認。急登を乗り越えてなだらかな傾斜を登ると、観音峰山頂上に到着。視界は効かずあまり山頂らしくない。ここで昼食。暖かいラーメンがうまい。



観音峰山頂上にて 写真提供: 山内幸子

しっかり栄養補給をして法力峠へ出発。三塚を越えて下りになったところで軽アイゼンを装着。永井さんによ

ると本日の最低気温はマイナス6.9度とのこと。幸い風が弱いので適度の寒さで助かる。晴天であれば霧氷の輝きも増すのだろうが、そこまでの贅沢は言えない。最近冬はスキーだけで冬山はまったく行かないのでアイゼンをつけるのは一昨年のマッターホルン以来か？ 今後はせっかくの冬山装備が朽ちないうちに&体力がそこそこある年齢で冬山に行ってみようと思う。

高度を下げて法力峠に到着、ここからはなだらかなトラバース道が続き母公堂に降りて車道となる。洞川温泉の風情を味わいバス停に到着。例年にない暖冬ながら、幸い積雪直後の冬山入門コースで霧氷を味わうことができ、楽しい山行となりました。

【コースタイム】

観音峰登山口10:00～10:50 観音平休憩所10:58～11:25 観音平展望台～12:05 観音峰山12:25～12:55 三ツ塚～13:57 法力峠～15:00 母公堂～15:25 洞川温泉バス停

【参加者】

山内幸子、小黒節郎、黒田記代、永井和、菱田克彦、深澤優子、松仲史郎 計7名

支部山行19-46 六甲山を歩く
「梅の余香を楽しんで 七兵衛山 462m」
 岡野武司

2月15日(土)曇

集合場所は、阪急岡本駅。この駅周辺には、私立大学が三校あるためか、駅前の商店街には洒落たお店が沢山あるところだ。天候は、曇りでしたがこの時期には、珍しく少し暖かいような気温だった。

全員が揃ったところで最初の目的地、保久良神社に向けて出発。この辺りは、保久良神社を目指す地元の方が多く、住民と挨拶を交わしながら保久良神社に到着。神社から南の方には視界を邪魔する木々はなく、神戸の街並みや六甲アイランドの港の様子を見ることができた。

保久良神社から金鳥山へは、途中まで風吹岩に向かう道と同じ道を歩く。一部で樹木がない道を進みながら金鳥山に到着。この山のピークは、登山道から少し離れた場所にあり、あまり人が歩かない道。ほんの少し荒れた道だった。金鳥山から先の道は、今までのような、急な上り下りの道はなく、ほぼ水平な道を1時間ほど歩き、お昼前に七兵衛山に到着する。

七兵衛山で昼食をとったが、突然一匹の猫が現れる。食事をしている登山者の周りを餌を求め歩き回るが、誰も餌を与える者がいないので、猫は諦め林の中に消えて行った。

その後、集合写真を撮り、打越山を経由し十文字山に

向けて下山。十文字山に到着するまでは、あまり見通しがきくところはない。

そうした中、十文字山の東側で、比較的最近建てたと思われる仏舎利塔や本堂が現れた。この建物は、電車からでもよく見る建物だが、敷地の境にはフェンスがありその建物に直接入ることができなかった。

十文字山のピークを過ぎた辺りで、登山道もアスファルト道に変わり、マンションや住宅街の中を歩いて岡本梅林公園に到着。開花状況は、木によりまちまちだったが、5分から7分咲という感じでした。梅花の余韻を楽しんで、再び、住宅街の中を歩き予定より50分遅れで、14時50分阪急岡本駅に無事到着した。



七兵衛山山頂にて 写真提供：前田正彰

【コースタイム】

岡本駅09:43～10:17 保久良梅林～10:58 金鳥山～11:51 七兵衛山～12:40 打越山～13:32 十文字山～14:29 岡本梅林公園～14:51 岡本駅

【参加者】

松仲史朗、前田正彰、横山規江、橋本圭之輔、播戸日出生、黒田守彦、岡野武司、黒岩敦子、野口恒雄、山本義博、宗實二郎、中島隆、久保和恵 計13名

支部山行19-47 ゆるやか山行
【里山探訪パート2】 歴史と文化を訪ねて
「善防山251m・笠松山244.4m」

前田正彰

2月20日(木)曇

朝、最寄り駅までの道すがらウグイスの初音を聞いて何か幸先良い気分となった。神鉄、北条鉄道と長閑な電車の旅を楽しんで播磨下里駅に下りた。久しぶりにお会いする懐かしい方々と挨拶を交わし柔軟体操の後、出発。

しばらく街中を歩いて山道へ。すぐに岩場の道となった。所々急な勾配となって厳しい箇所もあるが岩のグリップ力は十分あって助かった。

「山高きが故に貴からず」という言葉があるが、絶対

高さ240～250mの善防山・笠松山は、低山ながらそのコース上要所に鎖場あり、吊り橋あり、馬の背あり、また笠松山への斜面には岩肌を彫りこんだ仏様も拝むことができた。さらに尾根筋から望む播州平野の眺望は、まさにその言葉を実感させるものがあった。



善防山山頂にて 写真：前田正彰

天候も陽射しこそなかったが風も殆どなく気温も暑からず寒からずと山歩きには絶好であった。気がつくとき用意していた長タオルは使わずハンカチだけで間に合わせることができた一日であった。

長の駅で小一時間待ち時間が生じたが、有形文化財の駅舎や線路を挟んでの葉ボタンの畑やユーモラスな彫刻を楽しんだりしてその時間を退屈せず、朝感じた今日の予兆がしっかり本物であったことを思い出しながら、帰路の電車に乗ることができた。

【コースタイム】

播磨下里駅10:40～10:55農協前登山口～12:10善防山
12:25～13:35笠松山14:05～14:50熊野神社～15:25参道口
～15:55長駅

【参加者】

久保和恵、山内幸子、新本政子、黒田守彦、薦田佳一、坂口和子、嶋岡章、助川征、滝由喜子、野口恒雄、橋本圭之輔、菱田克彦、松村竹次郎、松村文子、山崎詮、青木昭、黒岩敦子、小林三喜男、田頭夏子、田中アキエ、中田栄、播戸日出生、横山規江、尼子章子、前田正彰

計25名

支部山行19-48 しっかり歩こう 月例会(2月)

「三本松峰 533.0m」

水谷透

2月23日(日)晴

新型コロナの感染クラスターが湯浅町の病院で発生したためか参加者が減り、公共交通機関を利用することに躊躇いもあったので車で向かうことにした。

湯浅ICを出てすぐ山田の集落に車を置き、県道を東に歩き始める。集落のはずれ近くで大廻りする県道から

逸れ、南に向かう林道に入る。県道と合流する地点では展望が開け、西に湯浅町のほぼ全景が広がり、その先に紀伊水道が望める。

ここからすぐのところにある湯浅トライアルパークに着くと、オフロードバイクが走り回っている。奥に進むと沢に沿って「DUNLOP」の黄色いテープが張り巡らされ、トライアルのコースが設定されている。走り回るバイクを避けるようにしながら沢の奥に進み、テープに惑わされながらも三本松峰の北尾根に出ると、ようやく広葉樹に包まれた静かな山を味わえるようになった。三本松峰は平凡で特徴もなく山頂らしきもない。三角点がポツンとあるのみ。山頂から少し下がった陽当りの良いところで昼食にする。

霊巖寺山に向かつては舗装道路が続く。湯浅エコファーム実証牧場の建物があり、牛舎もある。他にもいくつかある企業の間を抜け、道路から左に霊巖寺山への尾根に入ると、石灰岩の岩場が現れる。山頂には不動明王を祀る小堂と籠り堂がある。再び道路を西へ向かい、徳産地蔵菩薩の標識から地蔵峰山腹の登山道へ。地蔵峰直下の山肌に地蔵尊が祀られていた。地蔵峰へは道がなく、三角点を踏んで元の登山道を辿る。

車に戻る必要があるため、242mの三角点から北へ少し藪漕ぎをして林道に出ようと考えていたが、尾根筋に取り付こうにも林道の法面が続いて叶わず、柳瀬への登山道を下るとミカン畑の柵に出た。出入り口を探し、畑



霊巖寺山の岩場 写真：水谷透

の中を抜けて高速道路下に出て一本松の峠を目指す。峠直下で道は途絶えたが、10分ほど藪を漕いで峠に出た。ところが、この先の斜面は竹藪が倒れて交錯している。障害物競争のように跨いだり潜ったりして、ようやくのことで林道に飛び出した。

【コースタイム】

山田9:40～10:05林道分岐～10:30県道合流～10:40湯浅トライアルパーク10:50～11:38三本松峰12:03～13:00霊巖寺山13:05～13:38地蔵峰13:43～14:26林道別れ～14:58柳瀬～16:03山田

【参加者】

菱田克彦、水谷透

計2名

支部山行19-49 しっかり歩こう雪山
「氷ノ山 1510m」

松仲史朗

2月29日(土)曇

八鹿駅前に集合し、全但バスで鉢伏口バス停に向かう。バス停で神戸大学山岳部OBの方の出迎えを受ける。国際スキー場は雪不足のため閉鎖されているのでリフトは使えず、リフト乗り場の横から歩き出し氷ノ山国際スキー場セントラルロッジを目指す。ロッジ前で昼食をとり、装備を整え東尾根登山口に向かう。

植林の中の土が顔を出す道を登り、東尾根避難小屋を目指す。北の鉢伏山やスキー場はガスで視界が悪く見えない。東尾根避難小屋で休憩した後、稜線は無風で、少ない雪に覆われたブナ林の中を一の谷休憩所まで進む。休憩所を過ぎると、神大千本杉ヒュッテまでは緩やかな尾根が続く。

神戸大学山岳部OBと学生達が迎えてくれたヒュッテでザックをおろし、運んできた野菜を渡す。夕食は大鍋で炊いた美味しいごった煮をいただく。山岳部員の自己紹介の後、薪ストーブを囲んで飲み食って大いに盛り上がった。



千本杉ヒュッテでの歓談 写真提供：藤田佳一

3月1日(日)曇のち晴

起床後、すぐに温かいレモンティーと朝食のうどんをいただく。

ワカンやスノーシューを履いて、山田氏の先頭で氷ノ山ぶん回しコースに出発する。去年は雨の影響で縦走を中止したが、今日は天気が回復するので期待できそうだ。氷ノ山山頂(1509.8m)まではガスって視界が悪かった。頂上避難小屋で休憩後、氷ノ山越を目指す。若桜からの登山者も登ってきてにぎやかな氷ノ山越避難小屋だった。だんだん天気が回復し、赤倉山付近で太陽が少し見えだす。霧氷の一種「エビのしっぽ」が、赤倉山から布滝頭(1264m)と大平頭(おおなるがしら)避難小屋の間で見られた。積雪は道標を見る限り30~50cm程で楽しめる雪山縦走だった。

大久保分岐の通過後は心地よいルートを小代越まで進む。

目の前が急に開け、高丸山の向うに鉢伏山が見える。小代越に到着したら氷ノ山山頂上だけが見え出す。下り始

めたら氷ノ山山頂と避難小屋がはっきりと見え、関西支部報の表紙写真に掲載されている東尾根をバックに記念撮影をした。ハチ高原バス停に到着し念願のぶん回しの縦走を無事終えた。

ハチ高原の神戸大学OBの合歓の木山荘では温かいおもてなしを受け、八鹿駅まで送っていただいた。

皆様のご活躍と山岳部のご発展を心よりお祈り申し上げます。ありがとうございました。



ぶん回し無事終了 写真提供：山内幸子

【コースタイム】

29日 登行リフト乗り場氷ノ山登山口11:55~12:34氷ノ山国際スキー場セントラルロッジ~13:13東尾根登山口~13:44東尾根避難小屋~14:40一の谷休憩所~15:46神戸大学千本杉ヒュッテ

1日 千本杉ヒュッテ7:01~7:45氷ノ山~8:46氷ノ山越~10:21布滝頭~10:57大平頭避難小屋~12:21小代越~12:58ハチ高原バス停~13:14合歓の木山荘

【参加者】

山内幸子、薦田佳一、永井和、松仲史朗、宗實二郎、山田健 計6名

支部山行19-50 六甲山を歩く
「徳川道を歩く」

黒岩敦子

3月7日(土)晴

何度か歩いたことのある徳川道の集合場所がなぜ石屋川駅かわからなかった。出発前にリーダーから徳川道の概要を聞きその起点が石屋川駅近くと教えられて納得。「舗装道路歩きが長いですが足慣らしと思って」と言われ歩き始める。確かに登山口までの歩きは嫌だなと思っていた。

ところが、「徳川道起点」の案内板、日本で最初の「石屋川隧道跡の石柱」「地藏祠」「沢山の地藏たち」「旧六甲山小学校跡地の碑」等を見ながら歩いたので阪急六甲駅までが近く感じた。

その後は住宅地の急坂を黙々と歩いて柏谷登山口へ。鶯の鳴き声に春を感じ、小さいながら美しい滝にも出合

う。昨年の台風禍のためか通行止めで新しい道が数カ所あった。川筋歩きでは苦手な徒渉が次々に出てきて慎重に挑戦。メンバーに助けられどうにか通過。峠まではハードな登りが続き最後の長い階段を重い脚でやっと登る。

昼食場所の穂高湖近くの道端にほんの少し雪が残っているのを見つけ、雪山と緑のない私にはうれしい光景。青い空を美しく映した穂高湖畔でゆっくり昼食、元気回復。下りも油断大敵と足元に注意しながら歩き今回最後の徒渉「徳川道の飛び石渡し」をクリア。

徳川道のコース森林植物園を抜け、北鈴蘭台駅へも舗装道路歩き。途中高校の横に徳川道の古い石碑があった



穂高湖にて 写真提供：前田正彰

が荒れていて藪が深く進めず幻の徳川道だった。

帰宅後六甲全山縦走マップで確かめるとその部分は破線で記されていた。その先の徳川道終点の大蔵谷までの長いコースをたどり無理を承知で機会があれば歩きたいと思った。

【コースタイム】

阪神石屋川駅9:10～10:30 杣谷登山口10:35～12:15 杣谷峠～12:25 穂高湖13:00～14:00 森林植物園14:40～15:25 北鈴蘭台駅

【参加者】

前田正彰、野村康、菱田克彦、横山規江、宗實二郎、播戸日出生、黒岩敦子、久保和恵（会員外2名） 計10名

中止山行

- ・支部山行19-45 支部スキーツアー
雪不足につき中止
- ・支部山行19-51 月例会(3月)
新型コロナウイルス感染拡大により中止
- ・支部山行19-52 ゆるやか山行 同上

個人山行(2020年1月～3月)

安全委員会に提出された個人山行登山計画書

1月1日	六甲山 高座の滝～六甲山～有馬温泉
1月1日～3日	対馬列島 竜良山・木斛山・御岳・平岳
1月1日～3日	大峰山脈 八経ヶ岳
1月2日～4日	台高 明神平
1月4日	大峰山脈 四寸岩山
1月5日	比良山系 大谷山
1月6日	鈴鹿 綿向山～イハイガ岳
1月10日	北摂 鴻心山
1月11日	丹波 和田寺山
1月11日	京都西山 竜ヶ岳
1月11日	唐松岳押出沢 滑降(山スキー)
1月12日	白馬乗鞍岳 滑走(山スキー)
1月12日	四国 石鎚山・弥山
1月13日	和歌山 湯浅～紀伊内原
1月13日	生駒山系 交野市の山
1月17日～19日	中津川市 小秀山アイスクライミング
1月18日～20日	奈良県 高見山地
1月18日	三重県津市 経が峰

1月18日	丹波篠山市 八王子山～虚空蔵山
1月19日	六甲山・蓬萊峽(岩トレニング)
1月19日	丹沢 大山
1月19日	六甲 住吉駅～五助堰堤～本庄橋～七曲から山頂
1月21日	奈良 鹿背山～大野山
1月22日	金剛山 青崩～トカラ谷～金剛山～青崩道
1月25日	六甲 芦屋川駅～高座の滝～六甲山～有馬温泉
1月26日	北摂・猪名川 一本松・大日山
1月30日	奈良 矢田丘陵 JR法隆寺～近鉄東生駒駅
1月30日～2月2日	浅間山(前掛山)安藤百福センターにて指導者養成講習会
1月31日	滋賀県大津市 宇佐山
2月1日	台高 三峰山
2月2日	大嶺山脈 稲村ヶ岳
2月4日～7日	和歌山の山
2月8日	東海 大日ヶ岳
2月7日～11日	戸隠連峰登攀計画
2月9日	台高山系・本沢川支流白倉又谷
2月9日	丹波篠山市 トンガリ山～西寺山
2月11日	台高 高見山

2月11日 台高山系・蓮川支流宮ノ谷～風折谷
 2月15日 六甲山・蓬萊峽(岩トレニング)
 2月15日～23日 ニューゼーランド南島トレッキング
 2月16日～17日 八ヶ岳 美濃戸口～赤岳鉱泉～美濃戸口
 2月23日 奈良県 二上山
 2月23日 金剛山
 2月23日～24日 大峰山脈 七面山・仏生ヶ岳
 2月26日～27日 伯耆 大山(北壁・八合尾根)
 2月28日～3月1日 アルパインスキークラブ 妙高旧スキー場跡を滑る
 2月29日～3月1日 八ヶ岳 美濃戸口～赤岳鉱泉～美濃戸口
 3月1日 丹波篠山 愛宕山～中尾ノ峰
 3月1日～4月18日 日本ジャルキャ・ヒマール登山隊2020
 3月2日～6日 和歌山県 奥高野・熊野の山
 3月6日 奈良県 三輪山～巻向山
 3月7日 京都東・水井山
 3月7日 奈良県 冷水山
 3月12日 大峰山脈 南八人山
 3月13日 武田尾 安倉山
 3月15日 大峰山脈 鉄山
 3月15日 大峰山脈 笠捨山
 3月19日～21日 越後駒ヶ岳～中ノ岳

3月20日 金剛・葛城山系 南葛城山
 3月21日 奈良県十津川村 筏師の道
 3月21日 鈴鹿山脈・藤原岳
 3月21日～22日 岐阜県・猿ヶ馬場山
 3月22日 丹波篠山・愛宕山
 3月26日 比良山系・武奈ヶ岳
 3月29日 金剛山

登山計画書(届)の提出を！

遭難対策として登山計画書を提出してください。
 計画書の作成は、より豊かな山登りへの第一歩です。

- ・個人山行を含む全ての登山や日帰りハイキング
- ・緊急連絡先(留守本部)は家族でも可
- ・出発の直前でも提出可
- ・やむをえない場合は未完成でも可

□提出先：関西支部安全委員会

①メール：keikakukansai@yahoo.co.jp

②FAX：0742(48)5946 黒田記代

③郵送：〒630-8034奈良市五条西1-29-4

黒田記代

※各警察署等へは、別途提出してください。

Room目録 (2020年/2月～3月)

2月3日	支部事務処理
4日	受贈の整理
7日	登山文化研究会
12日	登山教室PJ
13日	登山文化研究会
19日	役員会
20日	支部事務処理
3月1日	支部事務処理
10日	郵便物受取
11日	支部報発送 役員会
16日	登山文化研究会
18日	支部事務処理
23日	支部事務処理
25日	支部事務処理

山岳・スキー映画の世界 劇映画編3

嶋岡 章

Ⅳ 日本映画アメリカ映画

昭和初期にはドイツ・オーストリアの山岳・スキー映画を代表するアーノルド・ファンクやゼップ・リストは、同盟関係にあった日本でも映画を撮っている。まず最初にアーノルド・ファンクの監督作品とゼップ・リストの出演作品から。

1『新しき土』1937(昭和12年)



監督：アーノルド・ファンク、伊丹万作 出演：原節子、小杉勇、早川雪州、ルート・エヴェラー

ドイツに留学していた小杉勇は、恋人のルート・エヴェラーを連れて帰国する。彼には許婚の原節子がいたのだが、古い因習だと約束を反故にする。絶望した原節子は浅間山に身を投じようと花嫁衣裳を持って山にむかう。このシーンは上高地の焼岳で撮影されたとのこと。原節子は当時16歳だった。

2『国民の誓い』1938(昭和13年)

監督：野村浩将 出演：ゼップ・リスト、佐野周二、高杉早苗

どのような内容かは不明である。題名から判断するに、おそらく来日したドイツ青年が日本の国策に賛同するお話ではなかろうか。

3『銀嶺の果て』1947(昭和22年)

監督：谷口千吉 出演：志村喬、若山セツ子、三船敏郎、河野秋武

3人の強盗犯が警察の追及を逃れ雪深い北アルプスの山小屋に逃げこむ。三船敏郎の鮮烈デビュー作品で、脚本は黒沢明である。



この後、強盗犯が山に逃げこむ、あるいは山小屋に逃げこむといったパターンを真似た映画が後を絶たなかった。曰く『大学の山賊たち』(岡本喜八監督作品)や『猛吹雪の死闘』(石井輝男監督作品)

などである。

4『氷壁』1958(昭和33年)

監督：増村安造 出演：菅原謙二、山本富士子、野添ひとみ、川崎敬三、上原謙
井上靖の同名原作(朝日新聞連載小説)を映画化したもので、



前穂高東壁でナイロンザイルが切断して遭難した「ナイロンザイル事件」と槍ヶ岳北鎌尾根で遭難し、動けなくなった友人を見捨てることができずに運命を共にした「風雪のビバーク」をモデルにした物語である。

5『黒い画集 ある遭難』1961(昭和36年)

監督：杉江敏男 出演：伊藤久哉、香川京子、土屋嘉男、児玉清

鹿島槍ヶ岳で遭難した従兄弟の死に疑問があった…。松本清張の山を舞台にした推理小説が原作である。

6『北穂高絶唱』1968(昭和43年)

監督：沢島忠 出演：北大路欣也、星由里子、田中邦衛、橋本功

次郎(北大路欣也)と健吉(田中邦衛)は積雪期の滝谷から北穂高に登るが、健吉がスリップしたので次郎は反対側へとびこむ。そのときザイルが岩角で切断し健吉は死亡。次郎はそのショックで記憶喪失になる。記憶をとりもどすため次郎は健吉の弟の哲(橋本功)と一緒にふたたび北穂高に登る。そして次郎は記憶を取り戻すが、その動揺でスリップする。それを哲は反対側に飛びこみ次郎をくい止める。哲は次郎が助かりたいためにザイルを切って兄の健吉を殺したのではないかと疑っていたが、そんなことはなかったと一切を理解するのだった。

7『黒部の太陽』1968(昭和43年)

監督：熊井啓 出演：三船敏郎、石原裕次郎、辰巳柳太郎、滝沢修

関西電力黒四ダム建設工事を描く、三船敏郎と石原裕次郎の2大スターが共演した大作である。

8『富士山頂』 1970(昭和45年)

監督：村野鉄太郎 出演：芦田伸介、石原裕次郎、山崎努、渡哲也、佐藤允

富士山頂に気象用レーダードームを建設する物語。原作は実際にこの建設工事を担当した新田次郎である。石原裕次郎が観測機器を製作した三菱電機の技師、山崎努が測候所とドームの建築を担当した大成建設の技師を演じている。

9『八甲田山』 1977(昭和52年)

監督：森谷司郎 出演：高倉健、北大路欣也、加山雄三、三国連太郎

明治35年、厳冬の八甲田山で実際に起こった陸軍歩兵部隊の雪中行軍遭難事件を新田次郎が描いた原作『八甲田山死の彷徨』を映画化したもの。陸軍弘前第31連隊は少数精鋭38名で、木こりやマタギから雪山の知識を吸収し準備をして八甲田山を走破したが、青森第5連隊は210名の大部隊で雪山に対する準備もろくにせず八甲田山に突入し、折からの猛吹雪で立ち往生、進路を失い何日も彷徨し、ついに凍死するものが続出、最後まで生き残ったのは11名にすぎなかった。

10『聖職の碑』 1978(昭和53年)



監督：松山善三 出演：鶴田浩二、岩下志麻、三浦友和、田中健

これも実話を描いた新田次郎の原作を映画化したものである。大正2年、中箕輪高等小学校の校長以下生徒25名、青年会員9名、引率教師2名の総勢37名が木曾駒ヶ岳登山をおこなう。天候が急変し、何とか伊那小屋に到着するが、小屋は心無い登山者によって失火して石垣しか残っていなかった。体力のない生徒のなかには疲労凍死するものもあり、やむなく下山するが樹林帯までたどりつけたものは生存し、稜線上で力尽きたものの多くが命を落とした。その中には生徒に防寒シャツを与えて救おうとした校長(鶴田浩二)の姿もあった。総勢11名が死亡するという大遭難事故であった。

11『植村直己物語』 1986(平成元年)

監督：佐藤純彌 出演：西田敏行、倍賞千恵子、山岡久乃、丹阿弥谷津子

冒険家の植村直己の半生記である。西田敏行の植村直己って、タイプじゃないような気がするなあ、『浜崎伝助物語』ならいざ知らず。

12『奇跡の山ーさよなら名犬平治』 1991(平成3年)

監督：水島総 出演：中江有里、渡瀬恒彦、菅原文太

大分県九重連山でガイド犬平治と両親の離婚、母親の自殺などで失語症に陥った少女との心の交流を描いている。

13『剣岳 点の記』 2009(平成21年)



監督：木村大作 出演：浅野忠信、香川照之、中村トオル

新田次郎の同名小説を映画化したもの。柴崎測量官が剣岳に三角点を設置するために頂上をめざす。案内人は名ガイドの宇治長次郎である。そして、彼の名が残された長次郎谷から登頂をはたす。これと前後しながら初登頂をねらうのが日本山岳会隊の小島烏水らである。だがこの2隊が初登頂を争った事実はなく、新田次郎の脚色である。また剣岳の山頂には古い錫杖が残されていた。つまり初登頂ではなかったのである。

14『エヴェレスト 神々の山嶺』 2016(平成28年)

監督：平山秀幸 出演：岡田准一、阿部寛、尾野真千子

夢枕獏原作の『神々の山嶺』を映画化したもの。前半はジョージ・マロリーのカメラの発見とその謎解き、後半は日本人クライマーのエヴェレスト南西壁無酸素単独登攀挑戦を描く。



※IV-12：ビデオ、IV-7・8・9・10・11・13：DVD あり

本稿はこれにて終了するが、筆者の知らない作品も多々あると思う。「こんな映画もあるよ」とご教示いただければ幸いです。

2020年7月～9月 山行委員会行事案内

※後尾に申込み先連絡先掲載【いずれも締切厳守】

20-11 しっかり歩こう

「川久保溪谷からポンポン山・大沢山・水無瀬溪谷」
日 時：7月4日(土)
集 合：JR高槻駅南口バス停9時(9時6分発の川久保
行バス乗車)

コース：JR高槻駅南バス停＝川久保～ポンポン山・
釈迦岳～大沢山(向谷山)～水無瀬溪谷～

若山神社～水無瀬駅

地 図：2.5万分の1「京都西南部」「淀」

備 考：大沢山から「おおさか環状自然歩道」を歩き
ますが荒れているのでアドベンチャールート
になります。歩行距離約20km。コース変更
の場合もあります。

申込み：6月25日(木)迄(担当：山内幸子)

20-12 六甲山を歩く

「丹生山系歴史の道を歩く」

日 時：7月11日(土)

集 合：神戸電鉄箕谷駅改札出口 9時30分

コース：箕谷駅前(市バス)衝原～義経道～丹生山～帝
釈山～岩谷峠～双坂池～稚子ヶ墓山～肘曲り
～大滝口～箕谷駅

地 図：2.5万分の1「淡河」「有馬」

備 考：歩行距離約13km 歩行時間約4時間30分

申込み：7月4日(土)迄(担当：松仲史朗)

20-13 月例会(7月) 担当は青木 昭さんです。

「須磨アルプス懐でそうめんパーティー」

日 時：7月19日(日)

集 合：神戸地下鉄西神線妙法寺駅 10時

コース：妙法寺駅～東山～馬の背～横尾山～水野町分
岐～天皇の池(そうめん会場)～山陽電鉄月見
山駅

地 図：2.5万分の1「須磨」

備 考：食材や調理器具類は準備します。会場まで参
加者で分担して運びます。持参品は申し込み
者に連絡します。

申込み：7月9日(木)迄(受付担当：黒田記代)

20-14 沢登り例会

「大峰白川又川本流ゴルジュのキャニオニング」

日 時：8月1日(土)～2日(日)

集 合：国道169号線上北山村の白川大橋の袂

AM11:30(車利用)

コース：1日 白川大橋～(林道)～小黒溝谷(泊)

2日 小黒溝谷～(林道)～林道終点～中ノ又
谷出合～(キャニオニングで下降)～取水場で
終了～(林道)～白川大橋

装 備：ウェットスーツ必携、ライフジャケット、沢
登り用具一式、1泊2日食料、寝具、ツエル
ト等

地 図：2.5万分の1「釈迦ヶ岳」

備 考：選考あり、コロナの影響で変更もあります。

申込み：6月30日(火)迄(担当：茂木完治)

20-15 夏山合宿

「北アルプス唐松岳～鹿島槍ヶ岳～針ノ木峠縦走」

日 時：8月8日(土)～12日(水)

集 合：新大阪駅6:20(ひかり636乗車)白馬駅着11:41

コース：八方池～唐松岳頂上山荘～キレット小屋～種
池山荘～針ノ木小屋～扇沢(解散)

装 備：夏山登山装備一式(詳細は打合せ)

地 図：2.5万分の1「白馬町」「神城」「十字峡」「黒
部湖」

備 考：コロナの影響で変更もあります。

申込み：6月30日(火)迄(担当：茂木完治)

20-16 月例会(8月) 担当は辻 和雄さんです。

「飛騨 猪臥山登山1518.8m及び荘川沢登り」

日 時：8月21日夜(金)～23日(日)

集 合：西梅田・大和ハウス本社前 21:00

コース：22日 辻山荘(泊)(車)猪臥山登山口～(卯の
花街道ルート)～猪臥山～(中央ルート)～猪
臥山登山口(車)辻山荘(泊)

23日 辻山荘(車)荘川入溪口～(沢登り)～入
溪口(車)辻山荘(車)西梅田

地 図：2.5万分の1「猪臥山」

備 考：猪臥山登山・沢登り共、初心者向き(水量に
より泳ぎあり)。沢登り用具要(貸出あり、沢
靴500円/人)。山荘使用料3000円/人。

申込人数：7人まで

申込み：7月31日(金)迄(担当：辻 和雄)

20-17 月例会(9月) 担当は岡田輝子さんです。

「日笠山62m～一本松136m」低山縦走

日 時：9月13日(日)

集 合：山陽電鉄・山陽曾根駅改札口9:30
 コース：曾根駅～曾根天満宮～日笠山～夫婦岩～馬坂
 峠～大塩城址～一本松～亀岩～JR姫路別所駅
 地 図：2.5万分の1「加古川」
 備 考：歩行距離約7km 歩行時間約4時間(休憩除
 く)
 申込み：9月6日(日)迄(担当：岡田輝子)

20-18 沢登り例会

「大峰・白川又川本谷(奥剣又谷)」
 日 時：9月19日(土)～21日(祝・月)
 集 合：国道309号行者還トンネル駐車場AM9:00(車
 利用)
 コース：(白川大橋)～(林道)～小黒溝谷(泊)～(林道)
 ～林道終点～中ノ又谷出合～奥剣又谷標高
 1000m付近(泊)～八経ヶ岳～行者還トンネル
 駐車場(解散)
 装 備：沢登り用具一式、2泊3日食料、寝具、ツエ
 ルト等
 地 図：2.5万分の1「釈迦ヶ岳」「弥山」
 備 考：選考あり、コロナの影響で変更もあります。
 申込み：7月31日(金)迄(担当：茂木完治)

20-19 ゆるやか山行【里山探訪2】歴史と文化を訪ねて

「女人道-高野三山巡り」
 日 時：9月24日(木)
 集 合：高野山駅10時6分(南海りんかんバス奥ノ院
 前行10:12乗車)
 コース：奥ノ院前BS～摩尼峠～摩尼山～黒河峠～楊
 柳山～粉撞峠～十字路～転軸山～弘法大師御
 廟～一の橋BS
 地 図：2.5万分の1「高野山」
 備 考：歩行距離約11km 歩行時間約4時間30分

申込み：9月14日(月)迄(担当：久保和恵)

20-20 しっかり歩こう

「音羽山～白髪岳 リベンジ」
 日 時：9月26日(土)
 集 合：南矢代駅9時
 コース：南矢代駅～火燈山～音羽山～松尾山～白髪岳
 ～寺谷山～倉谷山～古市駅
 地 図：2.5万分の1「篠山」
 備 考：一昨年天候が悪くなりピークを踏めなかった
 白髪岳に違うコースからリベンジします。歩
 行距離約15km
 申込み：9月21日(月)迄(担当：山内幸子)

申込み先一覧

岡田輝子	smiler8823teruko@true.ocn.ne.jp
久保和恵	uncletorys05-kazu@nifty.com
黒田記代	kuroda2822@kcn.jp
辻 和雄	tsuji.kazuo.b@gmail.com
松仲史朗	mgjqk966@ybb.ne.jp
茂木完治	yib03510@nifty.com
山内幸子	sacchyama2f0710@yk2.so-net.ne.jp
関西支部	kansai.jac@canvas.ocn.ne.jp

「山行ひろば」開催案内

支部ルームに集まり、登りたい山の話を楽しみましょう。
 会員間の交流を図る場としてご利用下さい。
 ・開催日 7月29日(水)、9月30日(水)
 ・時 間 18:30～20:30
 (担当：黒田記代 kuroda2822@kcn.jp)

2020年7月～9月 自然保護行事案内

1. 日本山岳会関西支部本山寺山の森 森づくり活動(本
 山寺山森林づくりの会 活動)
 活動日 7月2日(木)、7月19日(日)、8月6日(木)、
 8月16日(日)、9月3日(木)、9月20日(日)
 予備日 雨天などで中止の場合、翌週同曜日
 作業内容 倒木整備、人工林林床整備、常緑広葉樹除
 伐整備、土留棚積、歩道保全整備など
 集合 JR京都線高槻駅北アルプラザ前 8時40分
 *作業体験、森林観察、入会、歓迎です

2. 東お多福山ススキ草原復元活動(東お多福山草原保
 全・再生研究会活動)
 活動日 7月15日(水)、9月30日(水)
 予備日 雨天などで中止の場合、翌週同曜日
 作業内容 選択的刈払い、夏の植物調査など
 集合 JR神戸線芦屋駅南口 8時30分

3. 自然観察会・森林観察会

●本山寺山の森観察会 参加見学

期日 集合 上記本山寺山森林づくりの会活動日と同じ

●東お多福山観察会

7月23日(木祝)、8月15日(土)、9月24日(木)
集合9時 東お多福山登山口バス停

4. 自然保護全国集会

「関西支部共済、秋10月24日(土)～25日(日)奈良県吉野山」開催予定 当初の7月4日～5日開催予定が、新

型コロナウイルス感染防止上延期となりました。

問い合わせ・申込み先

斧田一陽(全般 自然保護全国集会)
☎・FAX072-633-6556 090-4037-4542
武田壽夫(本山寺山の森) ☎ 090-2042-9101
田島聖子(東お多福山活動・観察会) ☎ 078-411-3837
締切 全国集会を除き開催日の一週間前まで

山の日関連行事

「山の日講演会」のご案内

無料・一般参加可・申込不要

日 時：8月30日(水) 午後2時開場受付
2時15分開演

演 題 「女性で目指す8000m」

講演者 遠藤京子氏

会 場 OIT梅田タワー2階セミナー室204号室

*社会的距離維持のため入場制限する場合があります。

*マスクをご着用下さい。

「夏季懇親会」のご案内

日 時：2020年8月30日(水) 午後4時30分～

場 所：大阪梅田「大東洋」 電話06-6312-7525

会 費：5,000円

参加申込は

*同封のハガキに63円切手を貼って8月10日迄に申込下さい。

*2日前迄に連絡なく欠席された場合は相当の金額を頂戴します。

*メールアドレス・電話番号をお書き添え下さい。(必須)

*連絡先 総務 新本政子 ☎090-7757-1495

新型コロナ感染防止のための対応

本号に掲載の行事は4月迄に計画されたものであり、新型コロナウイルス感染防止のため、中止や変更・人数制限等の可能性があります。詳しくは担当者にお尋ねください。

